

帯広畜産大学同窓会報

第23号 平成28年11月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

学長就任にあたって

学 長
奥 田 潔
(昭和52年獣医)



平成28年1月1日付で長澤先生の後任として学長に就任しました。私は、本学卒業後、大学院に進学し大学院在学中にミュンヘン大学（文部省交換留学生）へ留学する機会に恵まれ、1年遅れで大学院を修了しました。その後、再びミュンヘン大学に留学し帰国後、広尾共済組合、本学臨床繁殖学教室助手を経まして前任地の岡山大学農学部へ異動し、岡山大学には28年間勤めました。この28年間に本学はめざましい発展をとり、昨年11月には文部科学省の国立大学法人平成26年度評価結果において「学長のリーダーシップによる大学マネジメント改革の推進」に特筆すべき実績を挙げた大学として国立大学法人86校中Aランクに評価された5校の中の1校に入るなど、社会的にも高く評価されていることは同窓生の皆様もご存知の通りです。このトップクラスにある本学学長初年度における私の抱負は、引き続き「学長のリーダーシップのもとで大学機能強化を着実に推進し、安定した大学運営をすること」につきます。

28年間にわたり外から大学を見てきました。学長になって初めての年ですので現状をお話しするより期待を込めた私の印象を少し書いてみます。他大学にはない本学の素晴らしい点は畜産学・食品学・獣医学を含む「農学に特化した単科大学」であることです。これはどこにでも書かれている本学の特筆すべき特徴ですが、前任地である岡山大学農学部のような総合大学の学部では学問体系の異なる集団によって意見の方向性も異なるなど大学運営、学部運営の難しさがありました。一方、本学の教職員はほぼ全員が同じ方向を見つめながら議論できるという強さがあります。当然意見も異なり激論を交わす場面も多々ありますが、この小さな大学をより効率的・効果的な教育の場にするための議論は常に建設的であり、改革をとまなう大学機能強化策なども同じ方向を見ながら議論出来るという強みがあります。こうした強さを最大限に活かし、社会からさらに信頼される帯広畜産大学へ発展するよう大

学運営をしていきます。

国の財政が年々厳しさを増す中、平成16年にすべての国立大学が法人化され、運営費交付金は毎年約1%ずつ削減されています。こうした厳しい予算状況の中、各大学が存続するためには、それぞれの強みや個性を活かしながら持続的な“競争力”を持ち、高い付加価値を生み出す「大学改革プロジェクト」を創出し、資金を獲得していかなければなりません。本年度着手している本学の改革について報告させていただきます。第1として大学院の改組があります。本学は農畜産学・獣医学を融合した教育研究の出来る我が国唯一の国立大学として多くの実績を積んできています。研究者養成に関して本学は、岐阜大学連合獣医学研究科、岩手大学連合農学研究科の構成大学として20年以上、さらに帯広畜産大学畜産学研究科畜産衛生学専攻については10年以上にわたる実績を積んできており、それらを踏まえ平成30年入学者から帯広畜産大学独自の畜産科学専攻および獣医学専攻からなる「畜産学研究科設置」を目指しています。実現のためには超えなければならぬいくつかの課題がありますが、長年の夢でありました「帯広畜産大学博士号取得者」を輩出するための議論を重ねているところです。第2の改革としまして教員組織の見直しを考えています。外からも内からも今より分かり易い組織になることを目指しています。現在動いている組織の改革ですので多くの課題がありますが是非実現させたいと思っています。次の寄稿の機会をいただいた際には具体的にご紹介できればと思います。

大学改革を避けて現在の大学を運営することはできません。しかし、改革のための改革が無意味であることは言うまでもありません。伝統として守るべきものは堅持しながら、変えるべきことは変えるという前向きな姿勢でシステム改革を進めていくことによって、社会からさらに信頼される帯広畜産大学へ発展していくと考えています。地域と日本を理解しグローバルに活躍する卒業生を数多く輩出し、個性ある帯広畜産大学をさらに発展させるよう邁進する所存です。

同窓の皆様には、変わらぬご支援、引き続き貴重なご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会長挨拶

帯広畜産大学同窓会会長
砂川敏文
(昭和45年草地)



会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

由佐前会長の後を受け、昨年の10月から会長を務めさせて頂いております砂川敏文です。香川県出身ですが、卒業以来公務員として農業や北海道に関する仕事をし、帯広市長を務めて後帯広に住まいしていることもあって、お役目が回ってきたと思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年の十勝の夏は、日照が少なく雨が多いという天候不順が続き、作物の出来を心配していたところですが、特に8月には毎週のように台風の影響を受け、月末の10号による大雨で河川が増水、氾濫。道路網や鉄道網が寸断され、一時は十勝全体が孤立しかねないような状態でした。各地で住宅の浸水や畑の冠水、流失が多発し、甚大な被害が出ました。農業生産額の3,000億円超えに沸いた昨年とは打って変わって困難な年になりました。公共土木施設や農地、農業施設をはじめ、大きな被害の復旧には、相当の時間と費用が掛かりそうです。国や北海道と連携しながら、主産業の農業を中心に築き上げてきた十勝という地域の持つ底力を発揮して、速やかに復旧を進めるとともに将来の発展基盤を築き直す時だと思っています。畜産大学も果たすべき役割があると思います。会員の皆さんにも何らかのご支援をいただければありがたいと思います。

入学式に臨席しました。驚いたのは入学者の62%が女子ということです。近年の傾向だそうで、学部在学生全体でみても56%を超えるとのこと。私どもが学生の頃は5%ぐらいでしたから、隔世の感があります。最近各界で女性の進出、活躍が目立ちますが、農業、畜産、獣医の分野でも大きな力を発揮してくれそうです。頼もしい限りです。例年夏の「オープン・キャンパス」でも女性が目立つように感じます。近頃は女性の方が何事にも積極的なようです。

会員の皆さんの変わらない懐かしい思い出を温めるとともに、時代とともに変わる母校の姿を確認してもらうことは、とても意義深いと思います。入学希望者のために「オープン・キャンパス」があるように、OBのために「ホーム・カミング・デー (home・coming・day)」があってもよいのではないのでしょうか。大学当局と連携して、制度化を検討する価値はあると思っています。

法人化されて以来、各大学には一層の経営努力が求

められ、畜産も懸命の取り組みを続けています。その一つに大学基金の充実があります。既に多くのOBに畜産基金に協力いただいておりますが、基金の運用について学生への奨学金に傾斜させるように改めるとともに、基金への寄付の税制上の優遇措置が手厚くなったことから、これまで以上のご支援とご協力をお願いしたいとの大学の意向が示されています。同窓会としても協力していきたいと考えておりますので、会員の皆様のご理解とご支援をお願いします。

会員の皆様の健康とご活躍をお祈りしますとともに、同窓会活動へのこれまで以上のご理解ご協力をお願いして、ご挨拶に代えさせていただきます。

以上

理事(教育担当) に就任して

理事・副学長
柳川久
(昭和57年環境)



教育担当理事に、2016年4月1日付で着任いたしました。理事就任の前には、畜産生命科学部門の部門長を2年、就職支援室長を4年つとめさせて頂いておりましたが、正直このような立場になるとはまったく想定しておらず、初めて学長室に呼ばれて話を伺ったときには、失礼ながら「この人は何を言っておられるのだろうか」と学長のお顔をまじまじと見つめてしまいました。

とはいえ就任以来はや半年も過ぎ、未だに教わる事ばかりのはなはだ心もとない理事ではありますが、時代の流れ、大学に求められる変化の流れの速さに、いつまでも「不慣れなもので」といういい訳も言っておれず、周囲に支えられつつも、少しずつ前進の日々をおくっております。

このたびの執行部は局長と私が50代半ば、もう一人の井上理事は40代半ばという比較的若い執行部です。若さ故の未熟さも十分意識しつつ、その利点を生かした大学運営を心がけていこうと思います。また、学長を含めてほぼみな新人ですので、情報の共有をとにかくしっかりと考えており、その一端として学長、局長、理事室のドアは普段は開けっ放しで気軽にものを聞きにいける状態にしてあります。井上理事は研究、私は教育と責任範囲が分かれてはいますが、この2つは切り離せない部分もありますので、お互いの意見交換と情報共有をしっかりとゆく事につとめています。この連携は、学長の求めておられる「強い研究を背景にした、質の高い研究」の実践に繋がっていくはずで

前任の皆様のご尽力によって帯広畜産大学は第2期中期目標・中期計画をたいへん高い評価で終えてい

ます。また、比較的、入口・出口のしっかりした大学であり、学生の満足度も高い大学です。これらの強みを損なう事無く、より強く押し進めるための教育を目指して邁進していこうと思っておりますので、同窓生の皆様のいろいろな面でのご支援をお願いしたいと思っております。

理事・副学長 就任のご挨拶

理事・副学長

井 上 昇

(平成6年獣医)



平成28年4月1日付で本学の研究・国際連携担当、理事・副学長に就任いたしました。私は平成6年3月に本学畜産学部獣医学科を卒業し、翌年6月に原虫病分子免疫研究センター（現・原虫病研究センター）の助手に採用されて現在に至っております。

本学は平成16年度の法人化前後に2度の大きな教育研究組織改革を行い、小講座制の廃止、研究域の創設、学科制から課程制への変更など、時宜を得た教育改革・組織改組によって時代の要請に対応してきました。その結果、本学でしか成し得ないであろう、特色ある農畜産獣医融合教育研究体制の構築、すなわち大学周辺地域のみならず地球規模でのグローバルな要請にこたえる「欧米水準の教育課程の構築」、「国際安全衛生基準適応の実習環境による人材育成」、「地域連携、企業連携、国際連携」を着実に遂行しています。一方、こうした過程で解決すべき課題が顕在化したのも事実で、これまでの本学の成果をさらに発展させ、常に時代をリードする大学となるために新たな実行計画の策定や教育研究組織改革を行う時期に直面しています。教育研究組織が改組されるたびに、かつて所属していた学科、分野、課程、研究室、センターなどが廃止され、名称変更されることは、同窓生の皆様にとってご不満の種ではないかと拝察いたします。「同じ釜の飯を食った仲」という表現がぴったりの、かつての小講座制は教員や学生の本学あるいは講座に対する帰属意識を高める上で重要な仕組みであったように思います。来年度からの導入を目指している教育研究組織改革では、教員、在学生そして卒業生が連携して我が国の農畜産・獣医分野を牽引していく気概や風土が涵養されるような教育研究組織を創造するべく、執行部、教職員一同が知恵をしばり、心を一つにして取り組んでいく所存です。同窓生の皆様におかれましては、引き続き本学への温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副学長・事務局長 に就任して

副学長・事務局長

横 町 直 明



ショパンが作曲した「雨だれ」という前奏曲は、私も好きな曲のひとつです。この曲はショパンが恋人ジョルジュ・サンドと地中海のマジョルカ島へ愛の逃避行に行った際に作ったとされています。前半部は途切れなく続く静粛な伴奏音が、雨だれのように聴こえてくるからそのように呼ばれているとのこと。赴任して間もなくのこと、激しい雨音で朝目覚めました。ただ、窓の外を見ると小雨です。どうしてと疑問に思いましたが、謎は解けました。雨そのものは小雨なのに屋根から落ちる雨だれが尋常ではないのです。そうです、どの家にも雨樋がないではありませんか。屋根から直接落ちてくる雨だれは、ショパンのそれとはほど遠いものでした。

九州人のDNAが刷り込まれ、関東以北に住んだことのない私が、昨年11月帯広に赴任してからは、雨樋のない、底がなくキューブ状の家屋、イタドリやエゾニユウなどジュラ紀に舞い戻ったかのような巨大植物など毎日が驚愕と感動の連続でした。同窓会報に相応しくない内容と思いつつも、まず北海道、その中でも十勝の素晴らしい自然に圧倒された思いを皆様にお伝えしたかったことをご理解ください。

本学の大学運営に関して高い評価が得られていることなど本学の近況は、学長等がこの会報で紹介していると思います。財務等の担当の私からは、やや現実的なお話をさせて頂くことをご容赦願います。同封しています基金のパンフレット（必ず熟読願います）にありますように、本学の財政状態は極めて厳しい状況にあります。高齢化社会が加速し、今後ますます社会保障費が増大することは明らかであり、国立大学に対する国からの予算が拡充されることはあり得ません。このままでは、質の高い教育や学生の修学環境を維持することが困難になるのは火を見るより明らかです。そこで今、我々が最も頼りにしているのが、大学の最愛のステークホルダーである卒業生の皆様からのご支援です。残念ながら、本学卒業生約1万6千人のうち、大学基金の賛助会員に加入頂いている方は90人です。赴任して来て、さすがにこの数字を聞いた時は驚きを隠せませんでした。このことは本学が如何に情報発信をしてこなかったか、卒業生を大事にしてこなかったということに他なりません。そのためにも、大学と同窓会が一体となる関係を紡げればと思い、卒業生へのアフターサービスや同窓会業務の後方支援を全面的に本学が担うことについて同窓会と話し合いを始めてい

るところです。

最近読んだ新聞記事の中から、立命館大学の校友会（同窓会）会長の言葉を紹介させてください。「私たちの夢は寄付文化が乏しい日本に『循環型の後輩支援文化』を根付かせることだ。校友会の支援で成長を実感できた学生たちが、卒業後は校友として母校の後輩を支援する。そんな循環を確立できれば大学の学びはさらに豊かになる。」

さあ、瞳を閉じて回想してみましよう。神々しく屹立する日高山脈、貴婦人のごとく整然と立ち並ぶ白樺の木々、大学構内を駆け回るエゾリス、みなさんの過ごされた大学は何と素晴らしい所だったのではないのでしょうか。遠い昔の記憶が蘇ってこられたはずですよ。そして、目を開いて次にやるべきことは…、もう言うまでもありません。

支 部 だ よ り

オホーツク支部の近況

オホーツク支部長
吉 次 茂 昭
(昭和53年工学)



当支部定期総会は2年に1度となっております。今年は来年に向けての準備年という事で、前回、平成27年7月15日、佐呂間町のサロマ湖悠林館での模様をお伝えします。

当日は、当時の長澤学長、由佐同窓会長、辻事務局長に来賓としてご参加いただき、39名の出席をもって開催になりました。終了後には引き続き屋外ハウスにて『今年もやります、ジンギスカンでの懇親会』が開始され、佐呂間在住の同窓生の調達による佐呂間産ソーファラム肉や繁殖学教室秘伝のタレ、サロマ湖産ぷりぷりのホタテ、朝採りの新鮮野菜をメインにバーベキュー。アルコールが回ると共に、自己紹介と近況報告に移りました。堀次郎氏（S.42獣医）の畜大生協活動のエピソードや奥様（S.40酪農）とのなれそめ、坂井清治氏（S.33獣医）の今なお弓道に打ち込むバイタリティに感動しました。出席者は昭和の卒業世代が中心ではありますが、石井睦美氏（H.26環境農学）、山口佳亮氏（H.27畜産専修）の若者も出席し、大学の近況も知る事ができました。そして、締めは肩を組んでの逍遥歌。続いて屋内に場所を移し、さらに夜の更けるまで交歓と楽しい2日間でした。

さて、当支部の同窓生は300名弱と、道内では十勝、札幌に次ぐ規模で、農業関連だけでなく幅広く活躍し

ています。しかし身近にも、名前は知っていても顔が一致しない方が沢山おられます。転勤族の方も含め平成29年定期総会、懇親会にぜひご参加ください。お互い顔見知りになれたなら、何か良い事があるかもしれません。学生時代、寮生でなくても、部活に熱中していなくても、単位取得に苦しんでいたとしても、恋人がいなかったとしても、やっぱり、青春時代を畜大で過ごしたのですから。

北海道・上川支部の近況

上川支部会長
中 村 忠 雄
(昭和40年総合農学)



上川支部は、北海道の上川管内を一円とした約250名からなる同窓会であります。

総会は2年ごとに行うことになっており、昨年11月7日には21名の出席をいただき、旭川市内の花月会館にて行いました。

高橋勉事務局長の司会進行で進められました。当日は母校から学長代理として五十嵐郁男教授のご臨席を戴きました。ありがとうございました。

先生から挨拶を頂戴し、引き続き母校の近況をお聞きしました。木造校舎で学んだものにとりましては、その発展ぶりに驚くばかりでした。

今回の総会には、平成の卒業生が参加され、活気のある会になりました。一方、高獣・獣専や農専卒業の大先輩の姿が見られず、碧雲寮の蛮カラな学生生活の話聞くことができない寂しさを抱き、時代の流れを感じました。

宴会に入り十勝の青春時代の思いを馳せて盛り上がり、時間の経つのも忘れて飲み、語り合いました。疲れていらっしゃる五十嵐先生にご無理をいい二次会に繰り出し、さらに同窓会の親睦、交流を深めた一刻でした。



宮城県支部の近況

宮城県支部会長

笠井 晋

(昭和42年酪農)



平成27年度の支部総会と懇親会は、平成27年11月30日に仙台市内のホテルを会場に会員16名の参集にて行われました。

総会では、物故者への黙祷の後、今春の国家褒章にて紫綬褒章を受章した宮沢陽夫さん（S48農産化学卒業、現在東北大学未来科学技術共同研究センター教授）に会員からの祝福の意を込めて、支部長より大きな花束が贈られました。

その後懇親会となり、和やかに秋夜を過ごし、来年の再会を期して散会となりました。

現役の学生達が、卒業生が村長を務めている飯舘村にボランティアに来ていただいております。そこで平成25年と27年には、同窓会の開催と併せて来福した現役大学生の慰労を兼ねて我々卒業生との交流会を行っております。その際に、長澤前学長や教員の方も同行され、最近の母校の発展の様子を拝聴するとともに、学業と課外活動として被災地へのボランティアを行っている現役生の真摯さと逞しさに触れる、刺激を受けるとともに頼もしさを感じる一時の機会等を催しています。

関東同窓会の近況

関東同窓会会長

澤田 拓士

(昭和45年獣医)



この度、萬場光一会長（41V）の後を受けて新会長に就任しました。どうぞよろしくお願い致します。

まず、この夏の複数の台風による大雨で被災された北海道・東北地方の同窓並びに関係の方々にお見舞いを申し上げます。

本年の関東同窓会総会は6月19日（日）午後5時半から銀座ライオン7丁目店において会員67名が出席し、大学から奥田潔学長（52V）並びに横町直明副学長兼事務局長、同窓会本部から砂川敏文会長（45G）並びに岸本正事務局長（55T）の来賓4名、十勝毎日新聞社原山氏のご臨席を賜り盛大に開催されました。

萬場会長の挨拶の後議事に入り、太田修一副会長（40V）の議事進行で各議案が原案通り承認されました。役員改選では、新会長に澤田が、新幹事に細川修氏（48V）が選出され、萬場会長は顧問に、加藤喜市幹事長（42D）は副会長に推戴されました。今回は特に、永年同窓会の発展に貢献された務台方彦氏（18V）、鈴木一郎氏（25A）、守田貞公氏（28V）、渡部憲嗣氏（32V）、森田邦雄氏（41V）の5名に砂川会長から感謝状が授与されました。

総会后、「野生動物問題」と題して羽山伸一日本獣医生命科学大学教授（58V）に講演をお願いし、興味ある話をして頂きました。今後とも幅広い分野で活躍されている同窓の方々（多士済々）に貴重な話をして貰いたいと考えています。

引き続いての懇親会では、まず奥田学長から自己紹介と大学の現況を報告して頂きました。続いて砂川同窓会会長からは同窓会本部の近況報告がありました。宴は久しぶりの再会に旧交を温める中、恒例のプロのコーラスグループによる歌、出席された女性会員5名が舞台上がり、近況報告を行うなど、各テーブルを超えての懇親も大いに盛り上がり、まだまだ話足りない真に宴たけなわの中、お開きとなりました。

福島県支部の近況

福島県支部事務局

紺野 廣重

(昭和52年獣医)

平成26年に正式に同窓会支部として本部に登録された福島県支部です。ただし、実際の活動は、昭和43年から「帯広畜産大学福島県同窓会」として活動しており、今年で49年の歴史を持っております。初代会長は、高橋弘（昭和20年獣医畜産卒）先輩で同窓会の黎明の時期から平成まで会をまとめていただきました。2代目は鈴木勤（昭和25年酪農卒）先輩、3代目遠藤昌邦（昭和33年獣医卒）先輩、4代目は満山暹（昭和35年獣医卒）先輩、平成26年からは阿部恒夫（昭和39年獣医卒）先輩が、会長を務めています。福島県内に在住あるいは団体等に勤務されている卒業生（平成27年現在）は、母校の教員であった方も含めて62名（同窓会会員は約25名）いらっしゃいます。



阿部恒夫会長

ご存知のとおり、福島県は、平成23年3月の東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所の事故により大きな被害を受け、現在も約90,000人（平成28年7月現在）が県内外に避難し、風評被害も未だ残っています。同窓生の中にも、避難を余儀なくされた方がいらっしゃいます。しかし、一日も早い復旧・復興を目指し皆頑張っています。

最近の同窓会の開催状況としては、震災後大学から

今回は平成29年6月17日(土)銀座ライオン7丁目店で開催の予定です。

今回の総会では大変喜ばしいことに平成卒の出席者が増えました。会員増は永年の課題ですが、特に若い方々へのアピールが重要です。そのためにもコミュニケーションの仲介役を果たす同窓会名簿の充実を期待します。

終わりに、被災された地域の早期の復興を祈念し、福島県飯舘村菅野典男村長(45G)にはエールを送りたいと思います。

石川支部の近況

石川県支部会長
八木 幸 隆
(昭和47年獣医)



石川県支部の近況と同窓会開催のお知らせ ～平成29年2月24日に金沢で第8回同窓会を開催！～

石川県で初めて畜大OB親睦会を開催(H18.9.9)してから早いもので約10年を経ました。その間、ほぼ1～2年ごとに親睦会を開催し、現在までに7回を数えましたが、第3回目(H22.12.4)には初めて富山県から3名が参加、その後、第5回目(H25.1.26)には長澤学長(当時)と辻先生をお迎えするとともに、さらに福井県からの2名の参加もあり、正式に石川県支部として設立することが出来ました。現在では石川・富山・福井の同窓生にも参加を呼びかけており、毎回10～20名程の参加がありますが、今後はもう少し参加人数を多くしていきたいと考えておりますので、是非、富山県、福井県の同窓生の皆様、参加のほどをよろしくお願いいたします。

なお、皆様ご存じのとおり、昨年3月には待望の北陸新幹線の開業もあり、何より富山～金沢が約20分、そして、いずれ福井市もほぼ20～30分程度で結ばれることになるため、北陸地方はお互いにますます近くなることから今後は北陸支部(?)として、より多くの同窓生の参加を呼びかけていければと考えております。

ここで皆様へのお願いになりますが、このたび、「平成28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会」を金沢の地にて開催することになっており、同大会開催中の平成29年2月24日(金)18:30頃から大会会場の「ホテル金沢」にて、石川県支部主催による第8回目の同窓会の開催を予定しております。当日は北陸三県の同窓生と年次大会に参加される獣医学科OBの皆さんのご参加をお願いしたいと思います。なお、この日は国立大学の一般入試と日程が重なり、奥田学長が出席出来

ないため、学長代理として井上昇理事と横町直明事務局長そして同窓会事務局として五十嵐副会長の3名に出席して頂く予定となっておりますので重ねて多くの方のご参加をお待ちしております。

【同窓会の参加申し込み】

…1月下旬までに下記メールにてお願いします。

E-mail: summer_1919v@yahoo.co.jp

(事務局)

橋本良行(S56V卒)/mobile:090-4172-3664

滋賀県支部の近況

滋賀県支部事務局

中 塚 靖 彦
(昭和53年工学)

近頃、各県の地域事情を取り上げたバラエティ番組が各局でされており、わが「滋賀県」からも、誰もが知っているタレント氏が出てくるようになりました。

少し前までは「滋賀県出身有名人」が少ないうえ、滋賀に住んでいながら隣の京都出身を名乗るタレント氏もいたとか。果ては滋賀県が「どこにあるのか知らない」と答える場面がテレビでしばしば見られました。

そんな存在感を薄くみられがちな滋賀県ではありますが、こと畜大OBに限っては全国でも有数の「大活躍県」であろうと自負しております。

特にわが県は全国に名だたる三大和牛の一つ『近江牛』の生産地であり、その味の良さ、見栄えの美しさ、脂身の甘さ、そして歴史の深さとも第一級品として全国の高級料亭・老舗では高く評価されています。

その『近江牛』を根っここのところから支えているのが「帯広畜産大学卒業生」の皆様であり、県内獣医師界の中心的役割を果たしています。

また、競馬会では知らない人が無い、『栗東トレーニングセンター』があるのも滋賀県です。獣医師関係は勿論、調教師や、トレセン運営管理関係者も多数在籍しており、当支部の主力メンバーを構成しています。

さらに、薬品関係、公務員、農協職員、教員など、支部メンバーの職業は多岐にわたっておりますが、いずれも畜大で学んだことが基本的なベースとなっていることに変わりはありません。

さて、「滋賀県支部の創生は？」といいますが、須藤正之支部長(昭和43年獣医科卒)によりまして、実に昭和45年頃とのこと。当支部の重鎮である名倉利次大先輩(昭和20年帯広獣医畜産専門学校卒)が滋賀県職員として、特に家畜防疫を中心に辣腕を振るわっていた頃、数名の同窓生のもとに発足し、以来45年を超える支部歴を有しています。

名倉先輩は、当支部の支部長、相談役のような立場

でもわれら後進に道を示され、支部発展に大きなお力添えを頂きました。帯広畜産大学同窓会でもこのことを大きく評価していただき、同窓会功労賞を受賞されました。

昨年の帯広畜産大学同窓会ではわが滋賀県支部の勢いそのままに、飛行機の故障も、大風による日勝線の運休もものともせず、元気いっぱい授賞式に臨まれました。

同窓会後に行われた逍遙舎での懇親会でも、『乾杯』の発声の荣誉に輝き、「滋賀県支部茲にあり！」を表現していただきました。

私ども支部メンバー一同この上ない喜びとなりました。同窓会の皆様に改めまして御礼申し上げますと共に、役員、事務局の皆様に深く感謝申し上げ、帯広畜産大学同窓会のますますのご発展を祈念いたします。



長澤前学長、辻前事務局長を迎えて「チリリ鍋」を囲む
(2015.6.27 近江八幡市にて)



大阪支部の近況

大阪支部事務局

藤崎 泰造

(平成元年畜産環境)

■恒例2行事中心に広がるネットワーク！

初夏の豪華すぎる野外バーベキュー（豊中市 服部緑地公園）と年末の総会忘年会（大阪市天満 双龍虚）の年2回の恒例行事を継続し徐々に交流が広がってきています。

■釣りガール登場で場所取り役は世代交代！

新戦力の柴田響子（H18 畜産科学）さんと関本七重（H12畜産管理）さん女子二人で朝6時に公園場所取りをしてくれました。なんと彼女等はルアーアングラーズ（畜大釣り部）出身。早起きは得意のようです！

■遊びエリア広げる旧寮世代の先輩方

30代にキーマンを得たことは今後の同窓会運営に明るい希望となりました。一方旧寮世代の先輩方の遊びがダイナミックさを増しています。大阪支部会長の中川欣三さん（S41酪農）、黒川二郎さん（S45酪農）のお二方は十勝にもお家があり大阪との2重生活。中川さんは北海道食品のお店もされていて、毎年度産の美味しい食材をBBQにご提供いただいています。また今年の野外BBQには東京から中川会長と同期の加藤さん（S41酪農）にもご参加いただきました。帯広出身東京在住の加藤さんには私もすっかりお世話になっています。東京出張時には新宿ゴールデン街、帯広出張時にはご実家に泊めていただき近所のばんえい競馬場へ。

競馬場へゆけば氏原さん（S46酪農 帯広在住）中川さんらと合流。北海道の農耕馬の歴史遺産を十勝観光の目玉としてなんとしても残したい！と熱く燃えてらっしゃるのだから後輩としては黙って従うのみです。このばんえい競馬の応援歌を歌っているペーソスというバンド。CMソングもてがける人気バンドですが加藤さんが地方巡業プロデューサー。大阪は中川会長が帯広は氏原さんが現地プロモーター。帯広公演の際には同窓会大阪支部で氏原さんと野球部仲間の石田さん（S45酪農）も駆けつけるという近頃とても親しく遊ばせていただいております。さる8月そのペーソスを冠したペーソス記念競馬が開催され、なんと先輩方の愛馬「北のペーソス」「華のペーソス」が1着2着という奇跡が！

■楽しい同窓会にぜひご参加ください

なんだかどんどん広がる同窓会大阪支部！若いこ

ろは忙しくて、永いこと疎遠にしている、いつのまにか顔を出しにくくなった同窓会。親しい友人もないし……やっぱりやめとこう。その考えは間違いです！どうやら同窓会は旧交を温めるだけでなく出会いと発見の場所であるようです。是非ご参加下さい。



島根県支部の近況

島根県支部事務局長
川津章弘
(昭和60年家畜生産)



島根県支部同窓会は、田部祐樹氏（平成20年畜産卒）、渡邊勉氏（平成26年獣医卒）精鋭2名の新会員が加わり、現在会員数18名で活動しています。直近の支部総会は、昨年7月18日に出雲市で開催しましたが、久保田政男会長（昭和32年獣医卒）始め、年配組4名での寂しい総会となりました。今年の支部総会は、鳥取、島根、広島、岡山の中国4県が持ち回りで隔年開催される「中国地区合同の同窓会」に便乗させていただくことにしています。今回の合同同窓会は鳥取県が当番で、鳥取の味覚を満喫しながら中国地区の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

島根県支部の近況として特筆すべきことは、久保田政男会長が平成27年秋の叙勲を受賞されたことです。永年にわたり食品衛生の普及向上に貢献された功により旭日双光賞受賞の栄に浴されました。この栄誉をお祝いする受賞祝賀会が、今年の2月12日浜田市で開催され、同窓会支部からもお祝いに駆けつけました。受賞祝賀会は、総勢170名の参加により盛大に開催され、皆が祝福するなか、久保田会長は、「この度の受賞は私個人に対してよりも食品衛生の普及向上に日夜取り組んでいる食品衛生協会浜田支所の指導員活動が評価され、広く認知されたものと考えている。」と挨拶され、その謙虚な言葉に会長の人柄がにじみ出ており、大変

感銘いたしました。この度の受賞は、ご本人はもとより我々同窓会関係者にとっても同慶の至りであります。

畜大の卒業生は、畜産に限らず様々な分野で活躍されており、そのニュースをよく耳にします。その折には、必ず皆に共通する畜大魂なるものを感じます。今後も畜大魂が健在で、卒業生の皆様が益々活躍される事を期待して、支部の近況報告とします。



岡山県支部の近況

岡山県支部会長
進藤省一郎
(昭和36年酪農)



岡山県支部の発足、今から15年位…前の事です。帯広で行われました、ラグビー部総会後の酒席で鈴木直義学長から岡山県に永住するのかと聞かれまして、致しますと答えました。それなら是非、岡山県に支部を作って欲しいとの要望がありました。

私の現役時代の兄弟会社に勤務する大島祥裕氏、山崎修二氏に相談しましたら、即、作りましょうとのことになりました。発会式には、鈴木直義学長と事務局本部からの出席、大阪支部長金谷一夫氏、九州支部長深田泰三氏、岡初次氏、高木紘氏、多くの応援を頂きまして盛大にスタートいたしました。現在15名の小さな支部であります。岡山県支部から奥田潔学長が誕生いたしました。喜ばしい限りであります。OB・OGお一人様でも多くの方に参加していただけますような支部に致したく努力しますので応援お願い申し上げます。

本年度支部会は、11月19日（土）、奥田潔学長と事務局の方をお迎えしまして開催致します。進藤自己紹介、酪農科36年卒業、ラグビー部とアイスホッケー部に籍を置きました80歳です。

私には、支部会の籍が3つあります。

私が大阪の高校卒業でありますので、寮生時代の流れをくむ関西人会の一員としまして、大阪支部に籍があります。

私が、九州で30年間仕事をしましたので、九州人会の流れをくむ九州支部に籍があります。

倉敷に永住する身。岡山支部籍です。

県支部長と申しまして名ばかりでありまして、座っているだけのことであります。すべては、事務局の大島祥裕氏と山崎修二氏に丸投げお任せであります。携帯をもたずにパソコン下手で時間がかかる。何世代か前の人間であります。支部の拡大は考えています。

九州・沖縄支部の近況

九州・沖縄支部会長

深田 泰三

(昭和30年酪農)



熊本・大分！復興へ向け、頑張っています

当支部は、会員数172名で、創立48年目を迎えました。昨年の総会は、森田満雄副会長の尽力により、佐賀県唐津市で、開催しました。15名の精鋭が集結し（平成卒は希有）、深夜まで、濃密な会話が飛び交いました。出席者の高齢化は否めませんが、少数精鋭で、チラホラと、ご逝去の報も小耳に挟みながら、何とか存続しているのが現状です。

さて、全国各地で、猛暑、豪雨、台風等自然災害が頻発し、地球温暖化なのか、徐々に亜熱帯気候へと変貌しているようです。8月31日に、東北・北海道を台風が襲来する珍事で、風雨激しく、河川氾濫、土砂災害等による農畜産物への甚大な被害となりました。十勝地方も被害映像がありました。遠地より、衷心から、お見舞い申し上げる、次第であります。

また、本年4月14日には、M7.3の大地震が熊本・大分地方で発生しました。未曾有の大震災で、広範囲な、道路寸断、家屋崩壊等に驚愕。続発する余震のなか、未だ、避難生活を強いられている地区もあるようです。地震列島の宿命でしょうか。仕方ありません。

さて、支部会員数39名の熊本県では、とくに、被害が大きい熊本市内に、野川浩道（S29酪農）、山田進二（S30獣医）、土田能裕（S38酪農）、佃宗忠（S46草地）、加納良寛（S52酪農）、家入誠二（S55農工）、佐藤敬明（S56獣医）ほか12名が、阿蘇市に、大塚智宏（S51経営）、阿部寛樹（H12管理）が、南阿蘇村に、村上建徳（S49酪農）が、産山村に、滝本勇治（S39酪農）が、御船町に、野澤仁志（S46農工）が、合志市に古賀豊（S53酪農）ほか2名が、菊池市に東英俊（H2生産）ほか3名が。そして大分県には、木下正徳（S55獣医）ほか6名が被害に遇いました。全国各地から「温かい支援の輪」があったものの復興は、まだまだ道半ばです。被害にあった会員諸氏の、今後の

奮闘を、心から応援しています。

そこで、本年は、熊本・大分を、ささやかに、力強く、激励する総会とし、赤木信義副事務局長（S48農工）のお世話で、福岡県原鶴温泉にて、開催することとしています。齢85、老骨に鞭打って、再来年の、創立50周年記念式典と総会の、成功をめざす所存であります。



クラス会

酪農学科 クラス会

帯広畜産大学宮城県支部長

笠井 晋

(昭和42年酪農)

昭和42年酪農学科卒業の第9回クラス会が、平成28年9月27日に仙台市郊外の秋保温泉にて行われました。前8回はすべて北海道内で行われ、今回初めて道外（内地）での開催となりました。

卒業時55名だった級友は、7名が鬼籍に入り、また5名が連絡不明の状況です。当日の出席者は17名で、北海道9名、内地が九州・大阪もありで8名でした。当日は三次会まで飲みしゃべり、酪酩高歌放吟の宵となりました。



写真（女性は旧姓で表記）

左前列から、新木、上野、近藤、浦島、細川、板橋、岡本
左後列から、石戸谷、小田、田中、竹迫、水野、北倉、竹本、加藤、笠井、甘利

獣医学科昭和41年卒業の 大クラス会の報告（第3報）

樋口 脩
(昭和41年獣医)

昨年度より同窓会が新体制となり砂川会長ほか奥田新学長がそれぞれ就任され、心よりお慶び申し上げます。今後とも同窓会の充実・発展のためご尽力・ご指導をお願い致します。

今年はR I Oオリンピックパラリンピックが開催され、日本アスリートの活躍がメディア等で報道されましたが、その一方、8月には十勝地方（清水・芽室新得）・上川地方（南富良野）の台風による被害で、重要交通網の一つでもある、国道274号線は崩落し開通するには2～3年、また、JR石勝線（富良野線）は鉄橋の宙釣りのため、今年中の開通は危ぶまれております。特に農畜産物の被害は甚大で、イモ類・コーン・豆類はかなりの被害が予想されております。特にコーンについては製造工場修理等のための閉鎖により今期の操業は不能だと、報道されております。北海道、特に十勝の主要産業でもあります農畜産産業が今後厳しい試練が待ち受けていることだと思っております。

さて、上記「獣医学科昭和41年卒業大クラス会」は私達卒業後50年経ちましたので、昨年の「大クラス会」（神奈川県箱根にて：萩原・萬場・飯島・森田各担当幹事）で50周年は「母校の地である、帯広にて開催するのが当然である」と、全員一致で決定し、10月1日（土曜日）帯広駅前のホテルにて懇親の宴を盛大に終えることが出来ました。28名（卒業37名 鬼籍に入った友6名・不明3名）のうち、病欠2名欠席2名で24名出席し、遠くは、鳥取（太田垣）・横幕（神戸）飯島、萬場、森田、萩原（関東圏）・横井（岩手）その他、道内のメンバーでした。今回は兵庫県神戸（横幕幹事）にて再会を約束し散会を致しました。

同窓会のますますのご発展をお祈りいたします。

平成28年10月3日



畜友会

帯広市役所畜友会

帯広市役所畜友会会長
中野 雅弘
(昭和61年環境)



昭和61年環境学科卒業の中野雅弘です。

帯広市役所には、畜大を卒業した職員からなる「帯広市役所畜友会」という会があり、今年4月に、前任の名和靖史先輩（昭和56年化学卒）の後任として会長を拝命しました。

畜友会の今年9月現在の会員は、代表監査委員の西田譲先輩（昭和51年草地卒）、公営企業管理者の阿部信一先輩（昭和55年環境卒）の二人の特別職を含め、総勢59人です。農業分野で仕事している者は5人と意外と少なく、他は総務、企画、財政、税、福祉、環境、教育、商工観光、消防など、市役所の全ての部署で頑張っています。また、畜大が女子学生の割合が増えていると同様に、本会も女性が増えています。現在は19人、平成15年卒業以降では半数が女性です。本会の行事としては、退職される先輩と新規に採用される後輩の歓送迎会を毎年3月末に開催しています。母校のこと、仕事のこと等々楽しく、時には熱く語り合う場となっており、のんべえー集団は健在です。歳の差最大40歳の世代間ギャップは感じながらも、畜大同窓生として、支えあい、切磋琢磨しながら仕事に励んでおります。

また、帯広市は畜大と包括的連携協力協定を結び、産業振興や教育、人材育成など幅広い分野で様々な事業を実施しており、畜大には大変お世話になっております。こうした地域と連携した取組を目にする機会が多く、母校が帯広・十勝の発展に大きく貢献していることを誇りに思います。

最後に、昨年の十勝農業は史上最高の大豊作でしたが、一転して、今年は春先からの長雨・日照不足に加え、気象観測初の1シーズンに三つの台風上陸、そして台風10号による豪雨に伴う河川の増水・氾濫により、道路、橋、建物、農地、農作物等に甚大な被害が発生しました。被災された方々の中には、畜大同窓生もいらっしゃると思います。お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

Topics

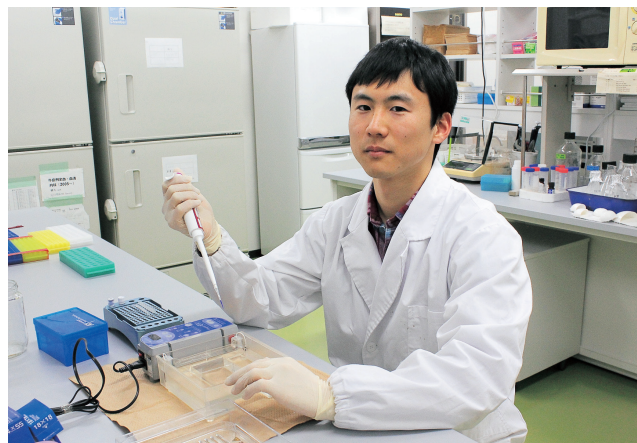
本学獣医学課程5年の本学前澤誠希さんが 第46回日本家畜臨床学会学術集会で最優秀発表賞を受賞

秋田県秋田市で開催された第46回日本家畜臨床学会学術集会上において、本学獣医学課程5年の前澤誠希さんが最優秀発表賞を受賞しました。

日本家畜臨床学会は、日本国内の産業動物臨床獣医師および獣医学関連の研究者374名（平成27年正会員数）から構成されており、産業動物の臨床研究とその発展を図ることを目的として活動しています。今回の受賞は、本学術集会上において発表された23演題の中から内容の最も優れた1演題を最優秀発表賞として表彰されたものです。

前澤さんが発表した研究演題は「BLVプロウイルス単クローン性組込みが証明された21カ月齢黒毛和種肥育牛の地方病型牛白血病」で、牛白血病ウイルス感染による地方病性牛白血病は従来3歳以上の成牛に発症することが多いとされていたが、前澤さんは、これまでの常識に反して3歳未満の牛白血病の発症に牛白血病ウイルス感染が関与することを分子生物学的手法を用いて証明したものです。近年、若齢牛の牛白血病発症数が増加して生産現場で問題となっており、本研究によりその発症に牛白血病ウイルス感染が関与することが明らかにされたことから、今後の本病予防対策の必要性が改めて強調されることとなりました。

前澤さんは「この度は、このような素晴らしい賞を頂き、大変光栄に思います。私たちがこのような賞を頂戴することができたのは、先生方の熱心な御指導や、共に学んできた友人たちの助けがあってこそだと思います。先生方や友人たちへの感謝の気持ちを忘れず、今回頂いた賞を励みに、今後より一層、研究に励んでいきたいと思っています。」と喜びを語ってくれました。なお、受賞式は、学術集会最終日の平成27年11月15日（日）に行われました。



最優秀発表賞を受賞した前澤さん

第88回北日本学生馬術選手権大会で 本学馬術部中村幸雄（畜産科学課程3年）さんが優勝！

7月2日（土）、3日（日）北海道大学において開催された第88回北日本学生馬術選手権大会で本学馬術部中村幸雄（畜産科学課程3年）さんが優勝しました。

この大会には、7大学から14名が出場し、予選は4ブロックのトーナメント方式で、ブロック全員が同じ馬で演技する貸与馬方式による人馬の運動の美しさと演技の正確性が求められる馬場馬術競技で競われました。

中村さんは予選を1位で通過し、決勝は予選上位4名による馬場馬術競技と障害競技で競われ、中村さんはみごと優勝しました。あわせて今年12月に日本中央競馬会馬事公苑で開催される全日本学生馬術選手権大会の出場権を獲得しました。

中村さんは「他の選手と比べ乗馬経験は浅いですが、全日本学生馬術選手権大会は畜大馬術部として誇りを

持って臨みます。」と抱負を語ってくれました。今後の中村さんの活躍が期待されます。



喜びを語る中村さん

事務局だより

逍遙舎の使用について

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学総務課にお申し込みください。

問い合わせ先 総務課総務係 49-5216
(平日 8:30-17:15)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/alumnus/syouyousya.html>

同窓会事務について

同窓会事務局は、事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しました。なお、電話、FAX棟は、これまでと同様ですので、お問合せは下記をお願いします。

同窓会事務局 (平日8:30-18:00)
〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学内
Tel 0155-49-5996 FAX 0155-49-5996
E-mail dousou@obihiro.ac.jp
HP <http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

本学同窓会の終身会費の徴収方法について

現役学生の保護者の皆様へ

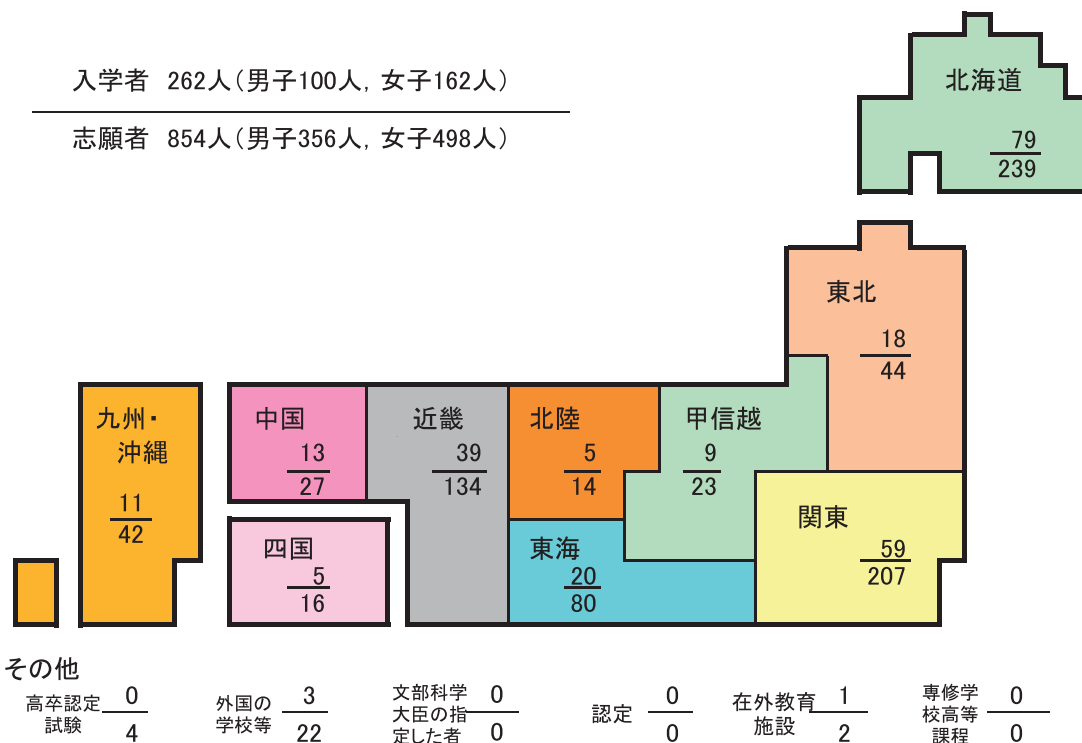
これまで帯広畜産大学同窓会では、会費の徴収方法として、入学時に入学者の皆様から同窓会への協賛金としていただき、卒業の時点で同窓会会員となった時にその会費を終身会費に変更させていただいておりました。しかし、その煩雑性と他の大学の状況を見たとき、現役学生も入学した時点において準会員の資格を与え、その結果として、入学時に終身会費をいただくことといたしました。なお、特別な事情で、途中で大学を去る場合においては、本人からの申し出において、終身会費を返納することは、従来と変わっておりません。また、本年度からは、入学時に同窓会に住所開示の許可をいただいた保護者の皆様には、同窓会報の発送も行い、本学同窓会の活動をご覧になっていただくことにいたしました。このような事情で、本年度より、現役学生の保護者様にも同窓会会報を発送いたしましたので、お気づきの点がありましたら、事務局までご一報ください。

また、本学の卒業生は、全国に散らばっており、現役の学生諸子の就職時にも、色々な分野の諸先輩の方々のお力も拝借できる体制となっています。その旨、ご子弟にお知らせいただき、同窓会事務局の先生方に連絡いただければ、全国の各支部に問合せを行うことも可能ですので、そのような観点からも同窓会を活用していただければ幸いです。

◆ 平成28年度学部地域別志願者・入学者状況

入学者 262人(男子100人, 女子162人)

志願者 854人(男子356人, 女子498人)



平成26年度 事業報告

- 平成26年10月16日 第3年次編入畜産科学課程合格者(12名)、学士編入学2年次獣医学課程合格者(2名)へ同窓会費納入願いを発送
- 10月18日 平成26年度帯広畜産大学第1回同窓会役員会・代議員会開催
- 10月26日 三重県同窓会(砂川副会長出席)
- 10月31日 宮城県同窓会(長澤学長出席)
- 12月6日 第2回役員会開催
- 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 平成27年2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月中旬 卒業および修了予定者に帰省先住所記入書を配布
- 3月20日 卒業式由佐会長祝辞
- 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈(準備中)
- 6月20日 関東同窓会(長澤学長、由佐会長、多田副学長、辻事務局長出席)
- 6月27日 滋賀県同窓会(長澤学長、辻事務局長出席)
- 7月24日 オホーツク支部同窓会(長澤学長、由佐会長、辻事務局長出席)
- 8月8日 第3回役員会・第2回代議員会・焼肉パーティー開催
- 8月24日 第22号 同窓会報の発行
- 9月上旬 大学院修士課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程(平成22年10月入学)一般選抜・社会人特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 9月26日 釧路支部同窓会(長澤学長、由佐会長出席)

平成27年度 事業計画

- 平成27年10月3日 役員会・代議員会・同窓会総会・懇親会 開催予定
- 10月中旬 第3年次編入畜産科学課程合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 12月初旬 役員会開催予定
- 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 平成28年2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 2月初旬 2年次編入学・3年次編入学合格者で同窓会費納入者へ記念品贈呈予定
- 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 3月中旬 卒業および修了予定者に帰省先住所記入書を配布予定
- 3月20日 卒業式会長祝辞予定
- 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 5月中旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈予定
- 8月上旬 役員会・代議員会・焼肉パーティー開催予定
- 9月上旬 大学院修士課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程(平成22年10月入学)一般選抜・社会人特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定

平成27年度 事業報告

- 平成27年10月3日 役員会・代議員会・同窓会総会・懇親会 開催
- 10月15日 第3年次編入畜産科学課程合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 12月5日 役員会開催
- 12月10日 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 平成28年2月12日 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 2月初旬 2年次編入学・3年次編入学合格者で同窓会費納入者へ記念品贈呈
- 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月7日 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月中旬 卒業および修了予定者に帰省先住所記入書を配布
- 3月18日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
- 3月20日 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 4月18日 学長との懇談（砂川会長、五十嵐副会長、辻副会長、岸本事務局長）
- 6月16日 同窓生教職員懇談会開催（参加者23人）
- 6月19日 関東支部同窓会参加（奥田学長、横町副学長、砂川会長、岸本事務局長出席）
- 8月6日 同窓会焼肉パーティー開催（参加者27人）
- 8月30日 大学院修士課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程（平成28年10月入学）一般選抜・社会人特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送

- 10月中旬 第3年次編入畜産科学課程合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 10月22日 釧路支部同窓会参加（奥田学長、砂川会長、岸本事務局長出席予定）
- 10月29日 福島県支部同窓会参加（奥田学長、砂川会長、辻副会長出席予定）
- 11月5日 新潟支部同窓会参加（奥田学長、岸本事務局長出席予定）
- 11月19日 岡山県支部同窓会参加（奥田学長、辻副会長出席予定）
- 11月26日 九州支部同窓会参加（奥田学長、同窓会役員未定）
- 11月中旬 第23号 同窓会報の発行
- 12月初旬 役員会開催予定
- 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 平成29年2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 2月初旬 2年次編入学・3年次編入学合格者で同窓会費納入者へ記念品贈呈予定
- 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 2月24日 石川県支部同窓会参加（井上理事、五十嵐副会長出席予定）
- 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 3月中旬 卒業および修了予定者に帰省先住所記入書を配布予定
- 3月17日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞予定
- 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 5月中旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈予定
- 7月下旬 第24号 同窓会報の発行
- 8月上旬 役員会・代議員会・焼肉パーティー開催予定
- 9月上旬 大学院修士課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程（平成29年10月入学）一般選抜・社会人特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定

平成28年度 事業計画

- 平成28年10月15日 役員会・代議員会 開催予定

帯広畜産大学同窓会平成26年度通常会計決算報告

(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

収入の部					単位：円
項 目	H26年度予算	H26年度決算	増 減	備 考	
前年度繰越金	6,232,326	6,232,326	0	前年度繰越金	
名簿販売	0	21,000	21,000	名簿：3,000×7冊	
終身会費	4,000,000	4,360,000	360,000	20,000×218(終身会費)	
雑収入	7,674	46,337	38,663	利息(郵貯、JA、信金)、寄付金	
合 計	10,240,000	10,659,663	419,663		

支出の部					単位：円
項 目	H26年度予算	H26年度決算	増 減	備 考	
印刷代	2,000,000	1,837,373	△ 162,627	同窓会報印刷等	
通信、郵送料	2,000,000	1,436,508	△ 563,492	通信・郵送料、料金受取払い	
人件費	650,000	595,821	△ 54,179	謝金、施設管理費、アルバイト	
事務費	30,000	25,150	△ 4,850	事務用品	
会議費	50,000	34,305	△ 15,695	役員会、代議員会経費	
交通費	600,000	64,000	△ 536,000	役員旅費	
役員手当	200,000	171,000	△ 29,000	役員日当	
記念品代	100,000	476,682	376,682	記念品アルミボトル(3年分)	
雑費	200,000	197,604	△ 2,396	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他	
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立	
予備費	3,410,000	0	△ 3,410,000		
合 計	10,240,000	5,838,443	△ 4,401,557		

収入金額 10,659,663 円 ①
 支出金額 5,838,443 円 ②
 次年度繰越金額 4,821,220 円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成27年10月1日

監 事

石塚 紘達
 中家 敏博

帯広畜産大学同窓会平成26年度周年事業特別会計決算報告 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

収入の部					単位：円
項 目	H26年度予算	H26年度決算	増 減	備 考	
前年度繰越金	12,581,207	12,581,207	0		
懇親会費	120,000	100,000	△ 20,000		
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より	
雑収入	1,793	1,266	△ 527	定期預金利息	
合 計	13,703,000	13,682,473	△ 20,527		

支出の部					単位：円
項 目	H26年度予算	H26年度決算	増 減	備 考	
周年事業活動費	1,300,000	550,650	△ 749,350	懇親会費、各支部総会への役員派遣	
周年事業基金	12,403,000	0	△ 12,403,000		
合 計	13,703,000	550,650	12,307,270		

収入金額 13,682,473 円 ③
 支出金額 550,650 円 ④
 次年度繰越金額 13,131,823 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成27年10月1日

監 事

石塚 紘達
 中家 敏博

帯広畜産大学同窓会平成27年度通常会計予算

(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	H27年度予算	H26年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	4,811,772	6,232,326	△ 1,420,554	
名簿販売	0	21,000	△ 21,000	
終身会費	4,000,000	4,360,000	△ 360,000	20,000×200人
雑収入	38,228	46,337	△ 8,109	利息、寄付金
合 計	8,850,000	10,659,663	△ 1,809,663	

支出の部				単位：円
項 目	H27年度予算	H26年度決算	増 減	備 考
印刷代	1,000,000	1,837,373	△ 837,373	同窓会報印刷等
通信、郵送料	1,000,000	1,436,508	△ 436,508	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	700,000	595,821	104,179	謝金、施設管理費、アルバイト
事務費	30,000	25,150	4,850	事務用品
会議費	50,000	34,305	15,695	役員会、代議員会等経費
交通費	200,000	64,000	136,000	役員旅費
役員手当	200,000	171,000	29,000	役員日当
記念品代	170,000	476,682	△ 306,682	感謝状等
雑費	200,000	197,604	2,396	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	4,300,000	0	4,300,000	
合 計	8,850,000	5,838,443	3,011,557	

帯広畜産大学同窓会平成27年度周年事業特別会計予算

(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	H27年度予算	H26年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	13,131,823	12,581,207	550,616	
懇親会費	200,000	100,000	100,000	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	1,177	1,266	△ 89	利息ほか
合 計	14,333,000	13,682,473	650,527	

支出の部				単位：円
項 目	H27年度予算	H26年度決算	増 減	備 考
周年事業活動費	1,000,000	550,650	449,350	懇親会支払、各支部総会への役員派遣など
周年事業基金	13,333,000	0	13,333,000	80周年記念事業に向けて
合 計	14,333,000	550,650	13,782,350	

帯広畜産大学同窓会平成27年度通常会計決算報告

(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

収入の部 単位：円

項目	H27年度予算	H27年度決算	増減	備考
前年度繰越金	4,811,772	4,811,772	0	前年度繰越金
名簿販売	0	15,000	15,000	名簿：3,000×5冊
終身会費	4,000,000	3,920,000	△ 80,000	20,000×196(終身会費)
雑収入	38,228	2,034	△ 36,194	利息(郵貯、JA、信金)、寄付金
合計	8,850,000	8,748,806	△ 101,194	

支出の部 単位：円



項目	H27年度予算	H27年度決算	増減	備考
印刷代	1,000,000	0	△ 1,000,000	同窓会報印刷等
通信、郵送料	1,000,000	68,908	△ 931,092	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	700,000	762,000	62,000	謝金、施設管理費、アルバイト
事務費	30,000	5,426	△ 24,574	HP更新委託、文房具
会議費	50,000	704	△ 49,296	役員会、代議員会経費
交通費	200,000	506,000	306,000	役員旅費
役員手当	200,000	126,000	△ 74,000	役員日当
記念品代	170,000	137,700	△ 32,300	表彰状楯
雑費	200,000	77,957	△ 122,043	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	4,300,000	0	△ 4,300,000	
合計	8,850,000	2,684,695	△ 6,165,305	

収入金額 8,748,806円 ①
 支出金額 2,684,695円 ②
 次年度繰越金額 6,064,111円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成28年10月14日

監事

石塚 紘達 
 中家 敏博 

帯広畜産大学同窓会平成27年度周年事業特別会計決算報告 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

収入の部 単位：円

項目	H27年度予算	H27年度決算	増減	備考
前年度繰越金	13,131,823	13,131,823	0	
懇親会費	200,000	56,000	△ 144,000	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	1,177	1,350	173	定期預金利息
合計	14,333,000	14,189,173	△ 143,827	

支出の部 単位：円



項目	H27年度予算	H27年度決算	増減	備考
周年事業活動費	1,000,000	279,051	△ 720,949	懇親会補助、各支部総会への役員派遣
周年事業基金	13,333,000	0	△ 13,333,000	
合計	14,333,000	279,051	△ 14,053,949	

収入金額 14,189,173円 ③
 支出金額 279,051円 ④
 次年度繰越金額 13,910,122円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成28年10月14日

監事

石塚 紘達 
 中家 敏博 

帯広畜産大学同窓会平成28年度通常会計予算

(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

収入の部		単位：円		
項 目	H28年度予算	H27年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	6,064,111	4,811,772	1,252,339	
名簿販売	0	15,000	△ 15,000	
終身会費	4,000,000	3,920,000	80,000	20,000×200人
雑収入	5,889	2,034	3,855	利息、寄付金
合 計	10,070,000	8,748,806	1,321,194	

支出の部		単位：円		
項 目	H28年度予算	H27年度決算	増 減	備 考
印刷代	2,000,000	0	2,000,000	同窓会報印刷等
通信、郵送料	2,000,000	68,908	1,931,092	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	800,000	762,000	38,000	謝金、施設管理費、アルバイト
事務費	100,000	5,426	94,574	事務用品
会議費	5,000	704	4,296	役員会、代議員会等経費
交通費	600,000	506,000	94,000	役員旅費
役員手当	150,000	126,000	24,000	役員日当
記念品代	150,000	137,700	12,300	感謝状楯等
雑費	80,000	77,957	2,043	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	3,185,000	0	3,185,000	
合 計	10,070,000	2,684,695	7,385,305	

帯広畜産大学同窓会平成28年度周年事業特別会計予算

(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

収入の部		単位：円		
項 目	H28年度予算	H27年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	13,910,122	13,131,823	778,299	
懇親会費	200,000	56,000	144,000	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	2,000	1,350	650	利息ほか
合 計	15,112,122	14,189,173	922,949	

支出の部		単位：円		
項 目	H28年度予算	H27年度決算	増 減	備 考
周年事業活動費	1,000,000	279,051	720,949	懇親会支払、各支部総会への役員派遣など
周年事業基金	14,112,122	0	14,112,122	80周年記念事業に向けて
合 計	15,112,122	279,051	14,833,071	



石川県支部同窓会のご案内

日 時：平成29年 2月24日(金) 18：30より

場 所：ホテル金沢

石川県金沢市堀川新町1番1号 TEL:076-223-1111(代) FAX:076-223-1110

会 費：6,000円 同窓会会場にて受付します

詳細は事務局まで

【同窓会の参加申し込み】…1月下旬までに下記メールにてお願いします。

事務局：橋本良行 E-mail：summer_1919v@yahoo.co.jp

帯広畜産大学同窓会会報第22号の訂正のお願い

日頃、同窓会活動への御理解と御協力に感謝申し上げます。

昨年8月下旬に郵送いたしました帯広畜産大学同窓会会報におきまして、同窓会事務局での名簿ファイルの管理作業中の入力ミスにより、伊藤忠男様（昭和31年総合農学卒）をお亡くなりになられたように処理してしまいました。そのため、帯広畜産大学同窓会会報の訃報の欄にお名前を掲載してしまうことになり、伊藤忠男様をはじめ多くの方に多大なご迷惑をおかけしました。この点に関しまして、深くお詫び申し上げます。

このたびの件につきましては、住所ファイルへの入力する際に当方の入力ミスであり、お詫びの言葉もございません。今後このようなことのないよう、努力してまいりますので何卒ご容赦のほど、お願い申し上げます。

帯広畜産大学同窓会事務局長

岸 本 正

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。[敬称略]

名 村 正 雄 (S19年 獣医畜産)	菊 田 稔 (S32年 酪農)	三 好 俊 三 (S42年 酪農)
広 畠 正 武 (S19年 獣医畜産)	斎 藤 覚 (S32年 酪農)	荒 金 庄 二 (S44年 酪農)
關 録 郎 (S20年 獣医畜産)	水無頼 晃 (S32年 酪農)	入 江 伸 幸 (S44年 草地)
帆 苅 敏 雄 (S20年 獣医畜産)	海老名 六 郎 (S33年 獣医)	長谷川 一 夫 (S46年 草地)
町 田 外止雄 (S20年 獣医畜産)	鈴 木 隆 文 (S33年 獣医)	岡 坂 達 志 (S47年 酪農)
丸 地 宏 (S20年 獣医畜産)	高 橋 昇 (S33年 総合農学)	山 口 正 則 (S47年 獣医)
林 政 之 (S23年 農専・獣医)	竹 内 能 男 (S34年 獣医)	永 田 哲 男 (S48年 獣医)
古 屋 尚 (S24年 農専・酪農)	津 嶋 良 秀 (S34年 獣医)	伊 藤 寿 幸 (S53年 草地畜産専修)
五十嵐 齐 尚 (S25年 農専・農学)	山 田 健 雄 (S34年 酪農)	坂 本 廣 志 (S55年 農産化学)
関 廣 司 (S25年 農専・農学)	佐々木 忠 幸 (S35年 獣医)	鈴 木 由香里 (S56年 獣医)
矢 木 敏 博 (S26年 農専・農芸)	藤 本 一 郎 (S35年 酪農)	五十嵐 満 (S57年 農産化学)
高 橋 祥 克 (S28年 酪農)	道 下 嘉 熙 (S35年 獣医)	沼 山 直 子 (H4年 畜産環境)
片 山 巖 (S29年 酪農)	宮 永 恵 一 (S37年 獣医)	松 尾 大 地 (H24年 畜産環境)
蓑 輪 忠 明 (S30年 獣医)	伊 藤 具 英 (S38年 酪農)	西 村 博 行 (旧教員)
鎌 崎 信 一 (S32年 酪農)	秋 山 宏 (S42年 農産化学)	

*2015年7月から2016年10月までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成7年10月14日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂
平成25年10月5日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
2. 同窓会名簿の管理
3. 帯広畜産大学の後援
4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。
1. 正会員
1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの
4) その他代議員会で認めたもの
2. 準会員
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生
3. 特別会員
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員
第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。
第7条 会員の除名および資格の喪失
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。
2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。
第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。
第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。
第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
2. 会費の変更
3. 重要な資産の処分
4. その他の重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。
第21条 総会は会長が召集し、その議長は会員中より総会で選出する。
第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
2. 役員人事
3. 資産目録
第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。
第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。
第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。